

AI時代の デジタル・アーカイヴ 場所・コミュニティ・リアリティ

ゲスト

渡邊 英徳

東京大学大学院 情報学環

庭田 杏珠

広島女学院高等学校

開催延期

3/16に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、延期となりました。新たな日程は、今後の状況を見て設定します。今回は残念ですが、さらに企画を充実させて開催したいと思います！

慶應義塾大学 三田キャンパス 東館 6F G-Lab
参加無料 / 事前申込み不要 / どなたでもご参加いただけます

AIがデジタル・アーカイヴにもたらすもの

場所とリアリティ # 記憶を解凍する # ミュージアム・コモンズのチャレンジ

2021年春に開館する慶應義塾の新しいミュージアム「慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo:ケムコ)」について、学内外の研究者・実践者たちと対話を重ねていくケムコトークセッション。今回は、渡邊英徳氏（東京大学大学院情報学環・学際情報学府）と庭田杏珠氏（広島女学院高等学校）を招き、デジタル・アーカイヴを作り、使う場面において、現実の場所やコミュニティとどのように関わっていくのかを議論します。

両氏のプロジェクト「ヒロシマ・アーカイブ」や「記憶の解凍」では、AIやARをはじめとする先進技術を活用しながら、制作過程においては、地域住民との協働や世代間の交流など、リアル/フィジカルな場に根差した活動を展開しています。本セッションでは、渡邊氏、庭田氏の実践を手がかりに、ケムコが準備を進める文化財デジタル・アーカイヴをはじめ、これからのアーカイヴと教育・研究活動のあり方について、ご来場のみなさんとともに考えます。

[登壇者]

渡邊 英徳

(東京大学大学院 情報学環・学際情報学府)

庭田 杏珠

(広島女学院高等学校)

重野 寛 (慶應義塾大学 理工学部 教授)

宮北 剛己

(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教
/ DMC 研究センター研究員)

[モデレーター]

本間 友 (ミュージアム・コモンズ 専任講師)

[お問合せ] 慶應義塾ミュージアム・コモンズ

hello@kemco.keio.ac.jp tel. 03-5427-2021

http://kemco.keio.ac.jp Twitter: @museum_commons

Facebook: https://fb.me/museum.commoners/